

自然休養村連絡歩道橋 (PC斜張橋)

Connecting Bridge for Natural Resort Park
(Cable Stayed Concrete Bridge)

川田建設機工務二部

“光と水と緑の香り豊かな里”をスローガンに掲げた福光町自然休養村建設の一環として、一昨年小矢部川溪谷に自然休養村連絡橋（パウル・レオンハルト押出工法）が架橋されたことは、まだ記憶に新しい。

その小矢部川の支流蛇谷川に計画されているのが、自然休養村連絡歩道橋（仮称）である。本橋は自然休養村管理センターと農林漁業資料館、漁業経営近代化施設等の主要施設の相互連絡と、近隣に点在する集落を結ぶ事が主な役割となる。

本橋の型式については、自然環境との調和と美観を重視して比較検討を重ねた結果、PC斜張橋が採用された。ケーブル（Hi-Amアンカー使用）は、4本をファン型に2面配置した片斜張となっており、タワー形状は橋軸方向に方杖を有する鉄筋コンクリートA型となっている。

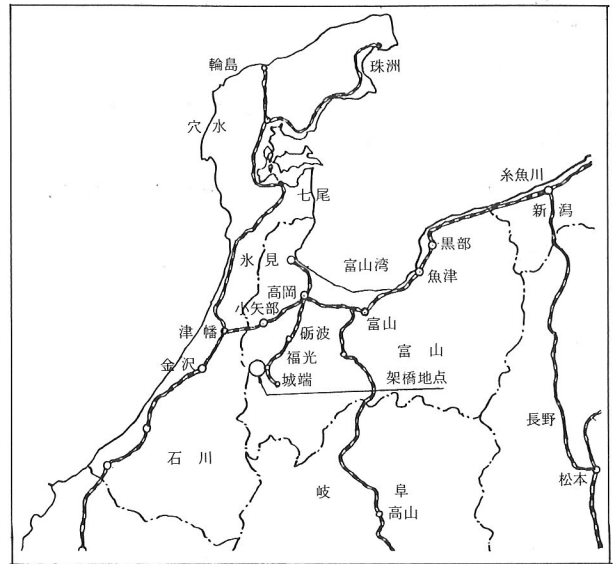


図-1 架橋位置図

架設工法は、補助鋼材を用いた張出し架設として計画設計されている。

なお、本橋は特殊構造型式の斜張橋であるために、構造特性、施工段階の変化及び架設の妥当性を検討するため、応力測定も予定されている。

